

## 平成28年第1回豊頃町総合教育会議会議録

- 1 総合教育会議開催日時 平成28年5月30日  
午後3時00分～3時41分
- 2 会 場 豊頃町える夢館委員会室
- 3 出席者 豊頃町長 宮 口 孝  
豊頃町教育委員会  
教育長 菅 原 裕 一  
教育長職務代理者  
前 川 啓 一  
委 員 櫻 井 康 雄  
委 員 宝 田 博 幸  
委 員 荒 川 めぐみ
- 4 出席説明員 豊頃町教育委員会 教育課長 富田秀樹  
教育課長補佐 廣澤行位  
豊頃町総務課 総務課長 和田宏樹
- 5 協議・調整事項
  - (1) 豊頃町教育大綱の推進状況について
  - (2) 学校等の施設の整備について
  - (3) ICT教育環境の整備について
  - (4) 次回開催予定及び内容について
- 6 審議経過 次のとおり

富田課長	<p>ただいまから、平成２８年度第１回豊頃町総合教育会議を開催します。初めに宮口町長からごあいさつ申し上げます。</p>
宮口町長	<p>第１回目の総合教育会議にご出席いただきまして感謝申し上げます。</p> <p>今日は、何点か協議しながら、また皆様の意見を聞きながら、内容の充実した総合教育会議にしたいと考えております。</p> <p>会議の内容につきましては、お手元に配付した会議次第です。説明は課長の方からいたしますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>協議・調整事項です。（１）の豊頃町教育大綱の推進状況について事務局の方から説明いたします。</p>
富田課長	<p>それでは、豊頃町教育大綱についてです。教育大綱につきましては、昨年５月に総合教育会議で策定いたしました。目標は、報徳のおしえを育む教育、生涯にわたって学ぶ人づくりとなっております。</p> <p>具体的な取り組みとしては、学校教育、社会教育、家庭教育の三本を柱として、それぞれ進めているところです。</p> <p>学校教育に関しましては、主に学校環境の整備充実となりますが、今年に関しては大津小学校のプールや、豊頃中学校の照明の LED 化、児童生徒のパソコンやタブレットの整備などといった取り組みを進めております。また、スクールバスにつきましても、今年度更新する予定で、就学援助の関係も進めております。それぞれ各小学校におきましては、４月に編成しました教育課程に基づきまして授業、行事等進めているところで、先日の土曜日には豊頃中学校の体育祭が行われたところであります。また、４月１９日には全国学力学習状況調査も実施しておりますし、７月末にかけましては全国体力運動能力等の調査も進めていきます。さらに小学校につきましては、北海道から ICT 活用教育促進事業の指定を受け、新たな学習形態の調査・研究の取り組みを進めております。</p> <p>社会教育に関しましては、本年度から３２年度までの５年間の計画で新たに第８次の中期計画を策定いたしました。これに基づきまして、今年度も年度ごとの実施計画を策定して、各種の事業を進めているところであります。今年の１０月１７日に</p>

	<p>はるにれ寄席を町民芸術鑑賞会として開催したり、各種講演会を予定しております。</p> <p>各文化団体やスポーツ団体の支援のほか、豊寿大学や生涯教室なども継続で実施をしているところであります。</p> <p>家庭教育に関しましては、各学校に家庭教育学級というものを設置しております。保護者などを対象に子どもたちの生活習慣などについて学習するという内容になっております。計画もそれぞれ出され、年度内にそういった中での研修や講演を各種行う予定となっております。</p> <p>以上が、今年度の推進状況として雑駁ではありますが、ご報告をいたしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
宮口町長	<p>ただいま事務局の方から教育大綱について推進状況のご報告がありました。このことについてご質問等あれば伺いたいと思います。</p>
各委員	なし
宮口町長	<p>ないようなので次に進みます。</p> <p>協議・調整事項（２）学校等の施設の整備についてです。事務局から説明いたします。</p>
富田課長	<p>お手元にあります、総合教育会議検討資料ということで豊頃町校舎併設型小・中連携校基本構想・基本計画というものが配られていると思います。そちらをご覧くださいと思います。</p> <p>１ページのはじめにというところではありますが、豊頃町の人口減少に関しまして、今後、児童生徒の数が減っていくのではないかと予想されています。その中、豊頃中学校に関しては現在の校舎が４１年を経過するという状況であります。耐震化の関係や ICT の活用教育といった学習環境の変化といったことがあります。そういったことも含めて老朽化が進む施設・設備の在り方について今後どういった方向性をもっていくのか、改築や整備について検討する必要があると思いますので、今回ご協議をいただきたいと思います。</p> <p>資料２ですが、昨年、教育委員さんが視察に行かれた雨竜町</p>

	<p>小中学校の資料です。こういった資料や、資料３の江差北小学校や江差北中学校の小中一貫校の例など、こういったスタイルもございますので、これらを検討していただきながら、これからの豊頃町の小中学校のあり方についてご協議いただければと思います。</p> <p>資料４には航空写真を添付しております。これは、豊頃小学校、豊頃中学校それぞれ上空から見たものでわかりやすくなっております。その後には、学校施設台帳の図面を添付させていただいております。それらを参考にさせていただきながら、ご協議いただきたいと思います。雨竜小学校に関しては、昨年７月に視察研修させていただきましたが、今年の７月には、江差の視察を検討しております。そちらの方も、ぜひご参加いただければと思います。</p> <p>以上、ご協議いただきたいと思います。</p>
宮口町長	<p>ただいま説明申し上げましたが、参考に他の学校の例が載っております。この件につきましては、説明があったとおり、中学校を建設し４０年が経っているということで、そろそろ建て替え時期だと思います。今後それらに向けての準備等もあろうかと思いますが、ご意見をいただきながら検討していきたいと思っています。</p> <p>小中学校校舎を一緒にすると一貫教育じゃないとだめなんですか。</p>
菅原教育長	<p>国では校舎問わず小中一貫で教育の成果が認められていますので、豊頃中学校に大津も加えた一貫もあるし、豊頃にもっと学校があれば、当然のごとくそれぞれで一貫もあります。また、小学校、中学校別々にせず、一緒に勉強するというカリキュラムで校舎も一緒にすればいいのではないかと、ということです。</p>
宮口町長	<p>カリキュラムが一緒ということは校舎も一緒じゃないとやりづらいですね。</p>
菅原教育長	<p>先生も大変だと思います。</p>

宮口町長	<p>雨竜町では建設費は１４、１５億ですが、インターネットで調べると３千人きっております。年数が経っているので豊頃町もそのくらいの金額が必要になってくると思います。</p> <p>もし、数年内に建設予定となると、今からある程度構想をもって財政的な面で調整しなければならないかなと思います。ある程度、起債の枠が決まっているので、３年後、５年後に建てるとしたら、今から出来るだけ起債をつまり借金を軽くして、今の段階では、一般会計の中では４５、４６億なので、繰上償還をして財政的に体力のあるときに借り入れの枠を余裕を持っておけば、将来にわたって負担はそれほど大きくはないと思います。借金した率の７５％くらい交付税で措置されますが、過疎債などは枠配分なものですから、出来るだけその借り入れをするときは、他の事業をストップして学校に集中的に借り入れをすることになるし、今のまま借金を増やしながら、学校の借金も増やすと財政的にちょっと重みになります。</p> <p>いま、この３月で一般会計が４６億、決算で基金も４６億になりましたので、体力的には十分あります。役場庁舎の方は４０年、５０年経ってもまだしっかりしており、庁舎を建て替えるのは先のことだと思います。</p> <p>なにかご意見等ございますか。</p>
菅原教育長	<p>教育長としての提案というか考えとして教育委員会議で説明しましたが、中学校と豊頃小学校をまず一貫校として、ひとつの校舎で将来を見据えて、勉強できる体制を作ることが豊頃町にはいいのではないかと。しかも、報徳のおしえを核として９年間勉強する。そのときに、中学校の校舎を使用するのか、小学校の校舎を使用するのか。敷地を考えると中学校に集約し、併設型の校舎にして、９年間の義務教育学校にはしないで、それぞれ校長、教頭がいて先生方が行き来するのが理想です。あわよくば保育所も併せれば教育も固まるのではないかと思います。</p> <p>豊頃小学校は新しくなって２５年経ちます。いろいろと手入れをしていただいているのでキレイに見えるのですが、豊頃小学校を併設校にするには敷地がちょっと足りないです。</p> <p>もうひとつは、上の野球場の利用が少ないので、中学校のグラウンドにソフトボール場形式で使わせてもらえると利用も</p>

宮口町長	<p>効率的かなと思います。</p> <p>大津については、保育所が出来ました。それから、今年は小学生が5人ですが、何年間かで9人、10人と横ばいの推計もありますので、当面は必要なときに交流して、ICTで遠隔授業をやっていくというような体制ではどうかと教育長の私的な考えで情報提供したところです。</p> <p>今日は、町長もおっしゃってくださいましたように予算のことも将来見越していく必要がありますので委員さんの立場でご意見いただければと思います。</p> <p>中学校でも小学校でもいいのですが、1階、2階とすると多少建築費が安くなるかもしれないし、前か横か後ろに建てて長い廊下で行き来が出来るようにして、平屋でも構わないので、シンプルなのが1番いいですね。3、4年で考えていかないといけないですね。今から手を上げといて、財政的に支援をいただけるようにし、その目的のために無駄をしないようにしていくのが大事かなと思います。校舎建設には15億くらいのお金は必要ですが、東京オリンピックの関係で資材も上がっている所以、落ち着けばいいのですが。</p> <p>どうですか。建設目標年度は、余裕をもって何年度にしますか。</p>
各委員	<p>あんまり早くするとオリンピックもありますからね。</p>
菅原教育長	<p>4年後はどうですか。</p>
櫻井委員	<p>先程教育長の方からもお話されましたが、やはり一貫校という形で義務教育校という形で小中合わせて9年間ということもあります。本町においては併設校という形で小中学校別々にそれぞれ校長、教頭がいて、職員たちも小学校は小学校、中学校は中学校でお互いに行き来しながら教育の現場にあたっていただく方が、豊頃町にはいいのではないかなと思います。</p> <p>また、昨年、第2回の総合教育会議のあとに少し基金を積み立てながらという話をしましたが、さっそく積んでいただいたというお話も伺いましたので、積極的にこの総合教育会議を軸に現実味をもって併設校の校舎を建てていくようにしてい</p>

	<p>た方がいいのではないかと私は思います。</p>
宮口町長	<p>41年を経過し、いずれ建て替える必要があるので、いまから議会、町民に理解してもらうには、町の一般財源の基金を教育基金に移行していくことで、予算の中でもある程度、議員さんに認識していただける形になると思います。</p>
前川委員	<p>そうですね、議員さんに認識していただかないといけないですね。</p>
宮口町長	<p>来年の3月あたりに基金を動かせばいいですね。 他にご意見ございますか。</p>
前川委員	<p>去年、雨竜のときに行ったのですが、併設校はいいなという気がしました。</p>
櫻井委員	<p>あれは新築ではないですよ。</p>
菅原教育長	<p>形式上は、危険校舎の認定を受けて、耐震や新增築といろいろしています。補助率が高いものを探してやっていると思います。</p>
宮口町長	<p>ある程度目標を持って、数字的なものは別として、いま言った財政的なものも徐々に教育基金の方に資金を動かしておいた方がいいかもしれません。</p>
宝田委員	<p>櫻井さん、前川さんが言った通り併設には賛成です。この時代ですし、生徒数が少ないですし、現状では少なくなる見込みですが、少なくなるからといって少ないなりの建物ではなくて、田舎を逆に売り物にしていって、人が増える可能性もなきにしもあらずなので、教室なども余裕をもったほうがいいのではないかと思います。</p> <p>それと、違う観点で新しく建てるにあたって中央区ですから、東北の地震や熊本の災害のように、もしこの太平洋側に津波が10～20メートルくるとなるとこの辺まで押し寄せる可能性があるので、避難場所を完備して平屋よりは2階建ての</p>

	<p>方がいいのではないかなと思います。中央区は人口が増えてきてますから、学校などは避難場所となると思いますので、建てるなら避難面も考えて建てた方がいいのではないかなと思います。</p>
宮口町長	<p>たぶん、生徒数の基準として補助金の関係もあります。もうひとつは防災関係で、2階は防災関係にするか。幕別の庁舎は耐震に耐えられるように、半地下のようなところに装置があり建築費の1割程度の2億5千万円程かかっているようです。思ったより建築費がかかってしまうかもしれません。</p> <p>その他、ご意見ございませんか。</p>
各委員	なし
宮口町長	<p>なければ、次に進みます。</p> <p>協議・調整事項（3）ICT教育環境の整備についてでございます。</p>
廣澤補佐	<p>資料3をご覧ください。本町では、昨年度から3年間教育におけるICTの活用を進める事業として、豊頃小学校と大津小学校が道教委の指定を受けまして、ICT活用促進事業に取り組んでいるところですが、昨年12月に文科省の担当者を招いたセミナーが開催されまして、なぜ、教育においてICTを進めなければならないのか説明がありましたので、その資料を掲載しております。</p> <p>（1）では、わが国の教育の現状と課題ということで、国際的な存在感の低下や、人口の減少によりまして、産業構造や労働市場の大きな転換が予想されている状況や、学習到達が高くなっている一方で、学習の楽しさや実社会との関連を否定したり、自己肯定感、社会参画意識が低いという子どもたちの近年の状況や、大きな変革を見せようとしている社会情勢や子どもの変化から、子どもたちがどのように生きていくのか問われており、教育の重要性がますます高まっていくと課題をとらえているところです。</p> <p>（2）では、平成32年に予定されている学習指導要領の改訂の中で、教育のICT化がどのように位置づけられているの</p>

か、改訂の視点とその中で科目の見直しなど、情報教育関係の論点を掲載しております。

(3) では、教育の情報化が目指すのは、教育の質の向上として、情報活用能力の育成など3つの柱をあげ、それに関する現状と課題ということでデジタル教科書の課題、昨年、文科省が調査しました学校におけるICT環境の整備状況などを掲載しております。

以上、わが国の現状と課題、教育の方向性などを示しまして、新しい時代に必要となる子どもたちの質や能力の育成のために教育のICT化を進めなければならないとしております。

3ページに参りまして、2では前回の総合教育会議で協議、調整した事項として、ICT関係の項目を掲載しております。

3では、本町の教育における課題を掲載しております。ひとつは大津地区の光回線の敷設ということで、昨年、豊小大津小間でインターネットを通じて遠隔授業を行いましたが、画像や音声の乱れなどがありまして、安定した状態での使用には、やはり光回線が必要で早期の敷設が望まれていたところです。本年度、予算措置され開設するのですが、年内の使用は難しいということで、今年秋に本町で予定している実践報告会には間に合わないということのようです。

その他、ICT機器の整備、デジタル教科書の整備、校務支援システムの導入、人材の確保などが課題となっております。

4では、学校におけるICTの整備状況及び今後の整備計画ということで、各学校におけるパソコン等の整備状況を記載しております。現状というのは平成27年度までの状況で、計画は本年度を含めました30年度までの整備状況を掲載しております。なお、平成28年度分は予算措置されておりますが、29年度から30年度分については、これから要求を予定している分として、導入が確定しているわけではありませんので、ご理解いただきたいと思います。

次に4ページに参りまして、昨年度、道教委の指定を受けましたICT活用教育促進事業実施報告書を添付しております。

昨年度は、初年度ということで、まずはタブレットパソコンに慣れるということを取り組んでおります。機器の導入時期が遅くなりましたが、先生方にも協力をいただきまして、12月には遠隔授業を実施することが出来ました。また、先生

方全員がＩＣＴ機器を活用し、授業を行うことも出来ましたし、子どもたちもタブレットの操作にはすぐに慣れたようで、調べ学習や体育、音楽の様子を撮影し、学習意欲を高めるなど、主体的に学習に取り組むことが出来たという成果をあげてきました。

なお、課題としては、数が限られていることから、使用計画の整備や指導方法の指導、学力向上に繋がる体制作りなどがあげられています。

次に、別冊でお配りしました資料をご覧ください。平成２８年度ＩＣＴ活用教育促進事業の概要ということで、先週木曜日に道教委に今年から新しく設置された情報化推進グループというＩＣＴ選任の職員が豊小と大津小のＩＣＴ機器を活用した授業の様子を参観しまして、その後、教育委員会の職員を交えた懇談の中で配付された資料です。内容につきましては、２年目となる授業の概要説明で、大きな変更点はないということでしたが、新たな実践指定校として実物投影機活用のために北見と釧路の小学校２校を追加したことと、昨年は、道教委と授業の進め方で計画にない授業の要求などがあり、多少トラブルがあったことから、２８年度の取り組み方を明確にしたという説明がありました。

なお、実物投影機とは、教科書や資料などを拡大して映し出す機器のことを言います。

２枚目には、本町の実施計画書を添付しております。平成２８年度につきましても、タブレット等を利用した自由研究やその効果の検証、遠隔授業に関する検証を進めていくということで進めて参ります。

なお、前段で触れましたように、秋に実践報告会を予定しておりまして豊小、大津小とも準備をし調整を進めているところです。

３枚目、４枚目につきましては、この事業の実施要項で実物投影機等の活用について検証したいということから、実物投影機に関する条文や、要件の追加、文言の整理が一部ございまして、改正した要綱が添付してあります。今後も道の事業を進めながら、ＩＣＴ教育関係の整備を図っていきたいと思いますので、ご協議いただければと思います。

宮口町長	ただ今ご説明したとおりですが、ご質問ございますか。
菅原教育長	電子黒板というのは、十勝の傾向では必要ないという声が多く、比較的電子黒板は十勝の場合はあまり入っておりません。 実物投影機とは昔のＯＨＰですが、これはすごく有効だと思います。
宮口町長	コンピューターの１台あたりの児童生徒数でいけば豊頃町は高いですね。
菅原教育長	総務課長に１つ質問ですが、補佐が説明した大津の光回線について、どうしても２月か３月にならないと使えないのでしょうか。
和田課長	詳しい経緯は聞いてないです。
宮口町長	正確な理由はなんですか。
菅原教育長	手続きに時間を要するみたいで、総務省にこれから出して７月か８月に許可が下り、それから入札して、工事業者を選定していくと年内というのは考えられないようです。
宮口町長	全部繋がらないといけないのですか。
和田課長	電話の交換局を使いますので、全部に接続しないと交換局自体が未整理の状態なので、電気が走らないということです。
宮口町長	わかりました。予算措置もしているので、１日でも早く繋がるといいですね。他にご質問ございますか。
各委員	なし
宮口町長	それでは、協議・調整事項（４）第２回開催予定及び協議・調整事項についてです。
富田課長	次回は１１月２１日以降に行う予定です。追ってご連絡しま

宮口町長	<p>す。</p> <p>次にその他ですが、全体的にご質問等ございませんか。</p>
各委員	<p>なし。</p>
宮口町長	<p>短い時間でしたが、色々なご意見をいただきました。ありがとうございました。7月の初めに研修に行きますが、身のある研修をされますことをご期待申し上げまして挨拶いたします。今日はどうもありがとうございました。</p> <p>以上で、第1回総合教育会議を終了いたします。</p>